

大阪の都市魅力創造 新戦略2020〈仮称〉（素案）

～2020年の大阪の成長に向けて～

1. 経緯

大阪府市のこれまでの取組み

○大阪都市魅力創造戦略の策定（平成24年度）

- ・世界的な創造都市に向けた観光・国際交流・文化・スポーツの各施策の上位概念となる府市共通の戦略を策定
- ・「民が主役、行政はサポート役」との基本的な考え方のもと、府市が連携して、3つの重点取組（水と光のまちづくり推進体制の構築、大阪アーツカウンシルの設置、大阪観光局の設置）、重点エリアのマネジメント、2015年シンボルイヤー、大阪ミュージアム構想を推進

戦略策定の背景

○大阪への注目の高まり

- ・大阪における平成27年の延べ宿泊者数は、3,090万人（うち外国人934万人）、来阪外国人旅行者数は年間716万人、関空の国際線を利用する外国人旅客数も開港以来初めて年間1千万人を超え、ホテル等の客室稼働率も2年連続全国1位と好調

○三大スポーツイベントの開催

- ・2019ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、関西ワールドマスタースゲームズ2021の開催を、世界に大阪の存在感を示す好機と捉え、その効果を最大限に取り込むためには、都市魅力のさらなるステップアップが必要

2. 「大阪の都市魅力創造 新戦略2020」について

世界の都市間競争に打ち勝つ都市魅力を創造・発信 2020年に向け、大阪を世界へアピール！

戦略目標

内外から人、モノ、投資等を呼び込む
「強い大阪」の実現

世界に存在感を示す「大阪」の実現

都市魅力の向上
(都市魅力創造)

まちの活性化
(取組の充実・発展)

好循環
持続性
自立性
向上

交流人口拡大
(集客効果)

消費喚起、投資拡大
(経済効果)

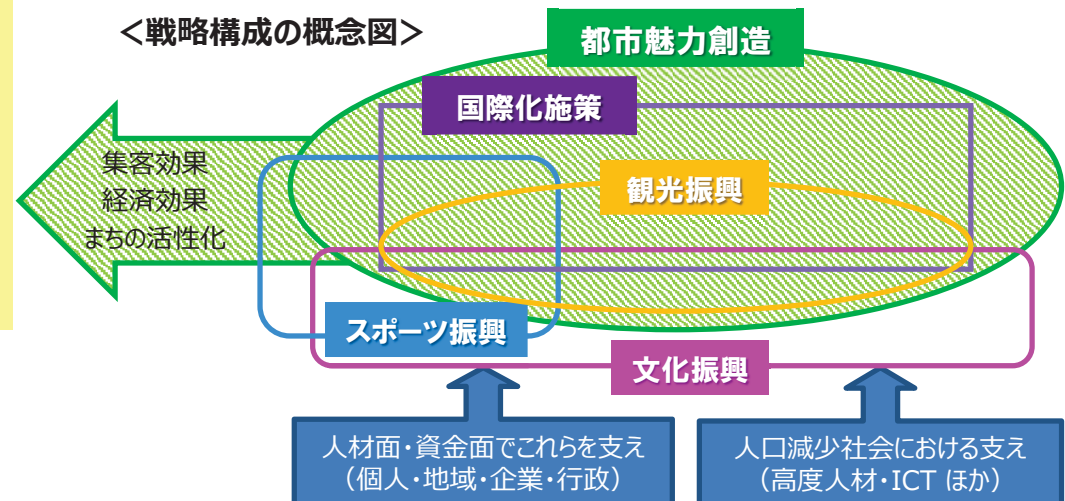
計画期間

平成28（2016）年度～平成32（2020）年度

基本的な考え方

- ◇国内及び世界に向けた大阪の魅力の発信
- ◇これまで取り組んできた重点取組を発展・進化
- ◇府域全体の発展に資する施策展開
- ◇2020年度以降も見据えた仕組みづくり
- ◇みんなで支える
- ◇PDCAサイクルの徹底

<戦略構成の概念図>



3. 10の目指すべき都市像

施策の成果の先に都市魅力を高める上でどのような都市像の実現に寄与するのかをしっかりと見据え、施策分野ごとに「目指すべき都市像」と「施策の方向性」を設定し、その目指すべき都市像の実現に向けてベクトルをあわせて施策の実施に取り組めます。

観光・都市魅力	世界に誇れる 自慢の都市	お勧めできる観光地や魅力的なスポットを創出し、大阪の人々が積極的にアピールできる自慢の都市を目指します。
	安全で安心して楽しめる 24時間おもてなし都市	観光客が昼夜を問わずまちに魅力を感じ、安全で安心して旅行を楽しめる都市を目指します。
	多様な人材が集う 観光・MICE都市	多彩な人が訪れ、集い、交流する活気あふれる都市を目指します。
	多様な楽しみ方ができる 周遊・滞在都市	観光客が大阪に滞在し、府内をはじめ各地を訪れ、多様な楽しみ方を体験できる都市を目指します。
文化	大阪が誇る 文化力を活用した都市	大阪の文化を保存・継承し、国内外に情報発信していくことにより、大阪の魅力を高めるとともに、国内外からアーティストをはじめ多くの人々が大阪に集い、交流する都市を目指します。
	あらゆる人々が 文化を享受できる都市	あらゆる人々が、大阪の様々な場所において、これまで以上に創作活動に参加でき、鑑賞体験できる都市を目指します。
スポーツ	アジアをリードする 国際・プロスポーツ都市	世界的なトップアスリートのパフォーマンスを「みる」機会を創出し、府民・市民に夢と希望を与えることができる活力のある都市を目指します。
	健康と生きがい創出する スポーツに親しめる都市	年間を通じて様々なスポーツを「する」「ささえる」健康で活力のある都市を目指します。
国際化	世界で活躍できる グローバル人材育成都市	国内外の若者に学びの場を提供し、世界で活躍できる人材を育てる都市を目指します。
	出会いが活力を生む 多様性都市	世界中から訪れる外国人が府民と変わりなく安心・快適に過ごせる環境を整えることで、多様な人材や企業が集う活力ある都市を目指します。

4. 目指すべき都市像と施策の方向性

世界に誇れる自慢の都市

●世界第一級の文化・観光拠点形成・発信

- ・水都大阪、市内重点エリア（大阪城・大手前・森之宮地区、中之島地区、御堂筋地区、天王寺・阿倍野地区、築港・ベイエリア地区）、大阪駅周辺地区、夢洲での統合型リゾートの立地促進
- ・万博記念公園エリア、百舌鳥・古市古墳群エリアの魅力創出
ほか

●大阪ならではの魅力創出・発信

- ・世界の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出
- ・大阪が誇るスポーツ資源を活かしたスポーツツーリズムの推進

●大阪の文化を満喫できる魅力創出・発信

- ・伝統的な祭りや食など、大阪の文化を満喫できるコンテンツの創出

●魅力的な景観演出

- ・歴史的建築物や街並みを活用した景観演出の推進

安全で安心して楽しめる24時間おもてなし都市

●観光客受入環境の充実

- ・観光案内機能の充実、多言語対応の強化
- ・ICTに対応した環境整備（Wi-Fi環境の充実等）
- ・宿泊施設、観光施設等の受入環境強化

●旅行者の安全・安心の確保

- ・医療機関、災害・事故等に関する情報の発信
- ・観光施設、宿泊施設等におけるスムーズな避難誘導
- ・災害等緊急時の相談対応の充実

●旅行者のニーズに配慮した多様なサービスの提供

- ・日本文化を楽しめるナイトカルチャーの創出
- ・富裕層の受入に対応した環境整備やニーズに対応した魅力づくり

多様な人材が集う観光・MICE都市

●MICE誘致の推進

- ・官民が一体となった誘致体制の構築
- ・ターゲット等を明確にした方針に基づく戦略的な誘致活動の展開
- ・統合型リゾートも視野に入れたMICE受入体制の充実

●観光マーケティング・リサーチの強化

- ・国内外における観光客のニーズ把握手法の確立
- ・宿泊施設や観光施設と連動した調査手法の検討

●観光振興を支える人材等の育成

- ・DMOの推進、専門人材の育成
- ・ホスピタリティの向上・人材の育成

多様な楽しみ方ができる周遊・滞在都市

●効果的なプロモーションの強化

- ・マーケティングに基づく観光客のニーズやターゲットに応じた戦略的なプロモーションの展開
- ・大阪ミュージアムの推進

●周遊性を高める利便性の向上

- ・地域資源を活用した着地型観光の促進
- ・府内の観光スポット等を周遊できる仕組みの充実
- ・広域周遊観光ルートの発信・誘客促進
- ・大型バスの駐車場等の確保・充実
- ・自転車で周遊できる広域サイクルロードの活用

●大阪に滞在したくなる仕掛けづくり

- ・観光客の目線で捉えた地域魅力の再評価と発信

4. 目指すべき都市像と施策の方向性

大阪が誇る文化力を活用した都市

- 上方伝統芸能を活用した魅力発信
 - ・上方伝統芸能の歴史的、文化的価値の理解、普及を図り、その保存・継承を支援するため、国内外に魅力を発信
 - ・上方演芸の歴史を伝えるため、府立上方演芸資料館において、資料を体系的に整理し、展示や研究機関との連携等の推進
 - ・国内外の人に、上方伝統芸能をはじめ、多様な大阪の文化を伝え、大阪文化の更なる振興につながる取組みの検討
- 都市の魅力向上と新たな文化の創造
 - ・府内のアートのスポットの創造と掘り起こしによる魅力の発信（大阪の名所）
 - ・大阪文化の海外サポーターにつなげるため、海外留学生に対し文化鑑賞機会の提供等
- 文化プログラムの推進
 - ・大阪ならではのリーディング事業の展開
 - ・府内市町村が独自の文化プログラムを実施できるようサポート
 - ・関西広域連合における文化プログラム事業との連携
 - ・アーツカウンシルの機能強化

あらゆる人々が文化を享受できる都市

- 芸術文化を創造し、支える人材の育成・支援の充実
 - ・大阪の優れた文化事業を結集し、国内外に発信するとともに、芸術文化の担い手（若手プロデューサー等）を発掘、育成
 - ・若手アーティストらが作品を発表し、情報を発信できる機会の提供
 - ・府民に優れた芸術文化の鑑賞機会の提供
 - ・障がい者の文化活動の推進
- 将来の社会の担い手となる青少年の育成
 - ・子どもや青少年が、学校における授業や地域活動等を通じて、優れた芸術文化に触れ、豊かな感性や創造性を育むための機会の充実
 - ・子どもや青少年が芸術文化活動に参加し、発表する機会の提供
- 芸術文化拠点の充実と府民意識の醸成等
 - ・官民が適切な役割分担のもと、相互に協力しながら、劇場、ホール等の設置や立地を誘導
 - ・府内の文化情報の発信等を通じた府民意識の醸成
 - ・文化事業の内容に応じた資金獲得手法の研究、具体化
 - ・文化財の適切な状態での保存・継承、府民が親しむ機会の充実

アジアをリードする国際・プロスポーツ都市

- 国際的なスポーツイベントの開催
 - ・人気の高い競技大会を誘致し、トップアスリートのパフォーマンスを見る機会の提供
 - ・RWCやオリ・パラ等機運醸成イベント等の展開
 - ・市町村と連携した事前キャンプの誘致、ホストタウン登録の推進
- スポーツ都市大阪の魅力発信
 - ・大阪マラソンのさらなる進化発展
 - ・ランドマークなど大阪のブランド力を活用したスポーツイベントの誘致・開催
 - ・大阪にゆかりのあるプロスポーツチームと連携した都市魅力の発信、観光振興につなげるための取組みの推進
- RWC、オリ・パラ、関西WMGの開催を契機としたレガシーの形成
 - ・オリンピック・ムーブメント教育の推進
 - ・産学官連携によるスポーツ人材の育成

健康と生きがいを創出するスポーツに親しめる都市

- スポーツを「する」機会、「ささえる」力の拡充
 - ・誰もが気軽にスポーツに取り組める機会の提供
 - ・トップアスリートの指導力などを活用した子どもたちの運動やスポーツに対する興味・関心の向上
 - ・関西WMGを契機とした府民のスポーツへの参加意欲の向上
 - ・スポーツをささえる人材の育成
- スポーツを通じた健康増進
 - ・身近なコミュニティにおける気軽なスポーツ実践の場の拡充
 - ・企業・大学等と連携した事業の展開
 - ・スポーツ健康科学の推進

4. 目指すべき都市像と施策の方向性

世界で活躍できるグローバル人材育成都市

- グローバル人材育成
 - ・英語教育の充実
 - ・グローバルリーダーの育成
 - ・国際交流の推進
 - ・国際バカロレア認証取得の推進
- 外国人留学生の受入と定着支援
 - ・留学生の受入環境の充実および拡大
 - ・留学生の活躍機会の拡充
 - ・留学生の就職活動支援
- 企業における高度外国人材の積極的受入・活用
 - ・外国人材の雇用を通じた企業のグローバル化

出会いが活力を生む多様性都市

- 国際都市にふさわしい安全安心の取組みの推進
 - ・外国人多言語相談機能の充実
 - ・災害時における支援体制の充実
- 地域のグローバル化
 - ・ホスピタリティの向上
 - ・オリンピック・パラリンピック等を契機とした国際理解の促進
- 国際競争力を有するビジネス拠点としての大阪の魅力向上
 - ・成長分野での産業振興やイノベーション創出の推進
 - ・中小企業の国際ビジネス交流の促進
 - ・外国人の起業支援
 - ・外資系企業の誘致、定着促進（外国人駐在員等への生活支援等）
- 大都市大阪の活力を統合した都市外交の推進
 - ・大阪の魅力や強みの効果的な海外への発信
 - ・府市それぞれの都市間ネットワーク・外交ノウハウを相互に活用した交流推進
 - ・総領事館とのネットワークを活かした情報発信の強化
 - ・地域特性を活かした国際協力
 - ・成長著しいアジアとの交流や先端産業分野での欧米等との交流の促進を通じた相互利益の実現